松戸国際高校ハラスメント根絶宣言

～寄り添うことから生まれる笑顔とリスペクト～

松戸国際高校の教職員は、生徒一人ひとりの存在を尊重し、その声や思いを大切に、常に生徒の人間的成長を見据え、共に学び、共に成長していく学校づくりを目指します。

私たちは、生徒の自己受容感、自己有用感と主体性を育み、生徒と教職員のより良い人間関係のもと、互いにリスペクト（尊重）し合うあたたかな学校を築くことを宣言します。

この宣言は、様々なハラスメントを「しない・させない・見過ごさない」という防止の姿勢にとどまらず、互いを認め合い、支え合う松国スマイルの輪を広げるための前向きな取組として発信しようとするものです。その実現に向けて、私たちは次の行動指針のもと日々の教育実践に臨みます。

＜行動指針＞

１．尊重と親身な対話を通じ、生徒の主体性を醸成する

教職員は、生徒一人ひとりの思いや考えを大切にする。先生と生徒という上下関係が生じやすい状況に配慮しつつ、生徒の話にまず親身に耳を傾ける。対話を通じて互いの理解を深め、生徒が指導内容を自らの成長課題として受け止められるよう支援し、「人生の主役は自分自身」であるという主体性、当事者性を育んでいく。

２．成長と発達を理解し、共感と支援をもって生徒に寄り添う

教職員は、生徒の成長と発達を理解し、生徒が抱える悩みや思いを受け止め、共に考える。困難な状況にある時こそ親身に寄り添い、認め、共に悩み、決定を支援していく。

３．日々の努力や挑戦を認め、生徒の前向きな行動を促進する

教職員は、生徒の努力や小さな変化を見逃さず、「認める」姿勢を大切にする。また、激励、称賛、感謝の積極的実践を通し、生徒が「自信」を感じながら、学校生活や生徒会活動、行事などに主体的、創造的に参画しようとする姿勢を支えていく。

令和７年１２月

千葉県立松戸国際高等学校

※本校生徒、職員の意見を基盤とし策定